

弘大キャンパスに事業所

機能性食品など開発
八戸の企業来月から

本県の天然素材を活用した機能性食品・化粧品品の開発、販売を手

掛ける八戸市の企業

「N. A. gene」

(名嶋真智社長)が8

月1日、弘前市の弘前

大学創立60周年記念会

館「コラボ弘大」内に、事業所を開設する。同大学と共同研究を進める予定で、29日、県、弘前市と開設の基本協定を結んだ。

初年度の年間売り上げ目標は1千万〜2千万円、3年後には2億円規模を目指す。当初は従業員1人だが、県内から採用し、3年後の従業員数は6人を見込んでいる。

同大学での調印式で、名嶋社長、櫻庭洋一

県商工労働部長、葛西

憲之弘前市長が協定書

に署名。名嶋社長は「県

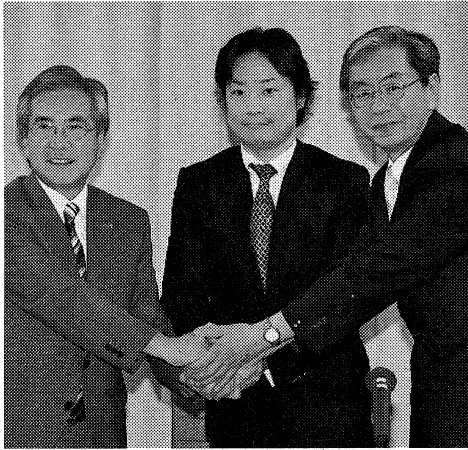
内の魅力的な素材を生

かした商品開発を進め

るとともに海外市場へ

の紹介、地域の雇用創

出も目指す」と述べた。



基本協定を結び握手する(右から)
櫻庭部長、名嶋社長、葛西市長

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。